

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2016年11月25日公開
イスラエルとヨーロッパの状況

エルサレムより、シャローム！イスラエルの状況についてお話ししたいと思います。皆さんも、すでにお聞きになられているかと思いますが、地元アラブ人やパレスチナ人による前代未聞の放火についてと、現在の状況について。

理解しておくべきは、現在イスラエルはこれまでに経験したことのなかったような乾燥と強風に見舞われており、湿度は5~10%にまで下がっています。これは異常事態で、通常は20~25%、沿岸部は当然もっと上がりますが、とにかく湿度が異常に低く、風が大変強いために、小さなマッチ一本で火が付き、あっという間に燃え広がります。消防隊は、今までにこれほどの状況は見たことがないと言っています。このような厳しい気象状況は、イスラエルでこれまでに二回あり、一回目は1962年、それから1996年でした。ですから、このような状況には、私たちも慣れていないのです。雨不足、乾燥、強風によって自然発火したもので、元々は放火ではないと思います。しかし、このような状態が数日続く可能性がある、テロリストが気付いた時、放火が始まったのです。犯人はすでに拘留されており、西岸地区のパレスチナ人や、ハイファやその他の地域のアラブ系イスラエル人が、木や草に火をつけ、それがあっという間に燃え広がった様子を映したビデオも存在しています。そして、ハイファだけで70,000人が自宅から避難し、200軒近くの家々が全焼しました。今日の午後に、残りの住民がようやく自宅に戻ることが許されましたが、火事の報告はさらにどんどん増えているのです。実際、45分ほど前ですが、私はエルサレムに向かって運転していましたが、火はどんどん広がっており、これらは100%パレスチナ人による放火です。ということで、ここ4日間で我々が目にしているのは、1,000件以上の火事で、そのうちの80%以上が故意の放火によるものです。そして、イスラエルは面白い所から援助を受けています。トルコ、ギリシャ、キプロス、クロアチア、ロシア、さらにアメリカからは超大型消火タンカーが間もなくイスラエルに到着しようとしています。それからアメリカから消防隊100人が来て、もう4日も消火活動に当たっているイスラエルの消防隊を援護します。こんなことは初めてです。幸いにも、誰一人として死者は出ず、重傷者もありません。神を褒め称えませ！被害の大部分は自然や家々で、それはいつもの事ですが、これまでもずっとそうだったように、このことによって私たちはさらに強くなり、さらに回復していきます。私たちはこのような事に対しては、厳しく取り締まります。犯人はやがて、自分たちの思い通りにはならず、それに対する取り締まりがさらに厳しくなり、彼らは自分たちの生活をさらに難しくすることになるのです。

はっきり言うておきます。イスラエルは地図上から消滅するということはありません。アラブ界のソーシャルメディアは、イスラエルが焼け落ちていると言って喜び、これはアッラー

からの贈り物だとか言っていますが、イスラエルを置かれた方は、眠ることもなく、まどろむこともありません！（詩篇 121:4 参照）彼らは、そこらへんに火をつけて、少しばかりの成功はあるかもしれませんが、彼らはすでに敗北しています。イスラエルは、その終わりがどうなるのか、私がはっきりと知っている国です。主である神、神の御名は「イスラエルの神」、そして主がイスラエルを守っておられるのです。そして私たちは主の「ひとみ」であり（申命記 32:10、ゼカリヤ 2:8 参照）、地球の歴史上、灰から復活したのは、私たちイスラエルだけなのです。奇跡的に古代の祖国の地に戻されました。戻ってきたときには不毛の湿地でしたが、パラダイスになったのです。我々の誰もが、それを見ることが出来ます。この国がどのようになったのかを、誰もが目にすることが出来るのです。エゼキエル 36 章にある通り、神がイスラエルの山々に息吹を吹き込み、

8 …イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。…

（エゼキエル 36:8）

ユダヤ人が群れを成してイスラエルに戻るために、土地を整えられ、地を物理的に戻されたのは、神ご自身です。私たちの戦争を戦われ、1967 年にエルサレムを私たちの手に戻されたのは、神ご自身です。エゼキエル 36 章で告げた通りに、地の四隅からユダヤ人を戻し、イスラエルを繁栄されたのは、神ご自身なのです。また、エゼキエル 38～39 章が成就するためには、イスラエルは繁栄していなければならないのです。そして、我が国は現在、史上最高の雇用状況で、経済的に非常に力を持っています。ですから、私は何も恐れてはいません。

今回の火事は大変だったかもしれません。空気はしばらくの間、汚染されているでしょう。しかし一つ確かなことは、これもまた、我々を傷つけようとか、あるいは存在を脅かそうとしたつまらない企ての一つです。エレミヤ書 31 章に、

35 日中は太陽の光を与え、夜を明るくするために月と星を与え、海をかき立てて大波を起さず天の軍勢の主は、こう言います。

36 もし、これらの自然界の法則がなくなるものなら、わたしはわたしの国民イスラエルを見限るだろう。

37 宇宙のすみずみまで正確に測られ、地中深くに埋めてある基礎が現れない限り、罪を犯したからといって、わたしが彼らを捨てることなどありえない。

（エレミヤ書 31:35～37 リビングバイブル訳）

月や星、太陽が無くなった時、国家としてのイスラエルもわたしの前から消滅する。これが

主の言われたことです。ですからもし、私たちの敵が我々を消したいのなら、私からのアドヴァイスは「火でも、武器でも、ミサイルでも、ロケットでも、飛行機でも何でも、月や星、太陽に向けて発射すればいい！」それが消えた時に、国家イスラエルも神の御前から消滅しますから！ということで、それらは失敗に終わる運命にあって、我々が勝利するということを、私たちは知っています。もちろん、困難を強いられることもありますし、思う通りに事が運ばないということもあります。しかし、私たちはいつも、イスラエルの運命図に笑うのです。神のご計画や約束を遂行されるのが、あまりにも完璧だからです。しかし、いつも良いことばかりではありません。神は目的をもっておられて、我々を困難な目にも遭わせます。私たちは、大惨事にならなかったことや、犯人を捕まえることが出来たことを、神に感謝すべきです。それから、飛行機や消防隊を送って、援護してくれた各国政府についても、神に感謝すべきです。そして、イスラエルが地域でこれほどまでに重要な力となっていることを、神に感謝すべきなのです。私たちが助けを求める前に、国々は助けが必要かと尋ねてくれました。過去 30~40 年間、世界中で大惨事が起こるたびに、イスラエルは真っ先にチームを送り込んできました。仮設病院や医師、がれきから人々を救出する救助隊など。ですから現在、私たちを助けてくれている人々に対しても、何の問題もありません。実際、これはものすごい証だと思えます。イスラエルの力だけではなく、非常に多くの国々がイスラエルの存在を知り、認め、イスラエルからどれほどの益を得ているかに気付いているのです。

ということで、アップデートしたいと思ったのは、まだ火災は続いているということ、一部は市内ではありませんが、エルサレムの周りに隣接していて、放火されるのは常にユダヤ人街であり、アラブ系イスラムの町ではないのは明らかです。しかし、我々はすべきことをしっかり行い、懸命に働くので、すぐに事態は終息します。気候が回復してくれば、日・月・火曜日にはぐんと良くなるはずですよ。どうか引き続きお祈りください。

16 義人の祈りは働くと、大きな力があります。

(ヤコブ 5:16)

私は祈りの力を信じています。それから私は、世界中のイスラエルを愛する人々が、イスラエルのために捧げる祈り以上のものはないと信じています。どうか、今の状況について、2 つのことをお祈りください。

- ① 神が雨を降らせてくださるよう。
- ② 犯人が捕まって、正義が行われるよう。

以上が、イスラエルについての現状です。ハイファの住民は現在、自宅に戻り始めていて、火災のために避難している他の住民も、いずれ自宅に戻れると思います。もちろん、損害を受けた家もあります。イスラエルの財務大臣は「全員に損害補償を行い、保険会社には汚い駆け引きをさせないので、心配しないように」と述べました。

さて、ライブメッセージしているもう一つの理由、ヨーロッパで起こっていることについて。今、情報社会に流れていることです。少し説明すると、この24時間にフランスで幾人かが拘束されました。理由は、パリでのテロ計画です。皆さんはあまりご存じないかと思いますが、あることに光を当てて言うと、イスラエルやヨーロッパ、それからアメリカの情報社会は膨大な量の警告を受け取っています。それは可能性ではなく、西ヨーロッパの町に差し迫っている脅威です。クリスマス前後から新年の間に攻撃されるでしょう。つまり、何百万人という新しい住民、イスラム教徒、ヨーロッパにおける宗教戦争です。国務省はそれらの地域への渡航を控えるか、もしくは十分に注意するようと呼びかけています。ターゲットはヨーロッパの都市のクリスマスマーケットです。クリスマスのオーナメントや小物を売っているような場所、そういうところではたいてい、ヨーロッパ人にはおなじみのパンチや温かいアルコール飲料を販売しています。そして今、何か大きな事態に向けて突進しています。つまり、どういうことかという、防衛省はすでに小売店に対して、十字架や、イエスの絵や、ネイティビティ（降誕にまつわるもの）を隠すようにと指示しています。それはイスラム教徒がそれに対して反感を覚えるからです。当然、パンチを飲むことも、イスラム教徒を刺激します。これはただのテロ攻撃だけではなく、もっと大きなことなのです。現在のヨーロッパでは、常識をはるかに超えたことが起こっています。これは宗教戦争です。そして、私が思うには、これによってヨーロッパは新しい指導者を熱望するようになります。

さあ、これに注目してください。まず第一に、ヨーロッパの一部では、元々クリスチャンの場所・教会であった場所が、イスラム教徒に乗っ取られています。オランダのフリースランド州では、270軒あった教会のうち250軒が「活発な」モスクへと変わるか、あるいは閉鎖しています。同じように、アムステルダムの聖イグナチオ教会も、現在は巨大なモスクへと姿を変えています。これは目新しいことではなく、イスラエルに来ると、元々はユダヤ人やクリスチャンにとって聖地であった多くの場所が、イスラム教徒がやって来ると、彼らはまさに、その場所にモスクを建てるのです。ヨッパに行くと、「皮なめし職人シモンの家」（使徒の働き10章）は、現在モスクです。聖墳墓教会もそこは今、モスクになっていて、ユダヤ人にとって聖なる場所、神殿の丘に行けば、そこはコーランの中に出て来もしないのに、今はそこにモスクが建っています。文字通り「聖地」と言われる所はどこでも、エルサレムの「二階の大広間」（マルコ14:15、ルカ22:12）までもが、現在モスクが建っています。ですから、教会だった場所がモスクに変わるの、何も今に始まったことではないのです。歴史上、それが起こるのを何度も何度も目撃しています。それから、例えばフランスや、イギリスのマンチェスターでも、メソジスト教会、聖公会、聖ペテロがモスクに変わっています。フランス・マルセーユではユダヤ教のシナゴークが40万ユーロ（約5000万円弱）で売られ、モスクになりました。7万人のユダヤ人が住むマルセーユの町には、現在、すでに73軒ものモスクが存在しています。このようなことが本当にあちこちで起こっています。これは

ヨーロッパに押し寄せる活発なイスラムの波の始まりに過ぎません。

面白いことに、現在ヨーロッパで二つの力が働いています。一つは、強力なイスラムの力。もう一つは、非常に強力なリベラルの力。イスラムは宗教を強制したいし、リベラル派は宗教を消滅させるか、失くしてしまいたい。彼らには宗教は要らないのです。彼らは、クリスチャンが目立つのを嫌います。ノルウェーで、ある人が書いていましたが、ノルウェーでは彼らのシンボルである国旗（赤地に白の縁取りがなされたインディゴブルーのスカンディナヴィア十字が描かれている）から、十字架を取り除こうとしていると言います。このように、リベラル派は全ての宗教的なものを破壊したいのです。それが、全てを制覇したいイスラムと相成って、ヨーロッパを弱体化させています。ヨーロッパは本当に弱くなっています。ここで間違っただけではありません。リベラル派はヨーロッパでは支持を失いつつあり、ここ数か月で、皆さんも目にするでしょうが、アンゲラ・メルケル（ドイツ首相）は落選するでしょうし、フランソワ・オランド（フランス大統領）も再選されることはないでしょう。ほぼ、全てのヨーロッパ諸国で保守派が政権を握ります。しかし、問題はこういった国々の最高裁は非常にリベラルだということです。最高裁の決議を通過するためには、全ての宗教の象徴となる物を掲げることを禁じなければなりません。それはイスラムのみならずです。ユダヤ人はヤムルカ（キツパともいう。正統派ユダヤ人男性が被る小さな帽子）を被ることを禁止されるでしょうし、イスラム教徒はブルカ（ヒジャブ。女性のベール）を被れなくなります。そういうわけで、平等という名の下に、全ての宗教がある意味苦しむこととなります。しかし、そのために多くのユダヤ人がヨーロッパから逃げて、イスラエルに帰還することになるでしょうし、私たちは喜んで受け入れます。しかし、そうなることでヨーロッパ人の中に不安が広がります。私が感じているのは、ヨーロッパがこれから先、イスラムの占領を許したりリベラル派の弱い政権に対して、市民が立ち上がり、やがては全ての宗教のアイデンティティーを取り去ることで妥協され、そこに反キリストの登場となり、新世界秩序が入ってくるということです。もはやクリスチャンも、ユダヤ教も、イスラム教もなくなって、誰もがそれを受け入れ、皆がそれを自分のアイデンティティーとするのです。

前にも言いましたが、もう一度言います。ヨーロッパが反キリストを生み出します。もうすでにそれが見て取れます。ミネソタ州で行われたカンファレンスでの、私のメッセージを聴いてください。「『ヨーロッパ』反キリストの到来のための備えが整いつつある」（「DIVINE US」で日本語字幕付きを視聴することができます）たくさんの情報をつたえています。その中で、私は事実を提示し、ヨーロッパがどのようにバビロンを取り込んでいるかをお見せしています。どうか皆さんに理解していただきたいのです。もうすぐヨーロッパで起ころうとしていること、テロの波は、もっと深い所のプロセスであって、宗教間の戦争がやがては、「いかなる宗教も廃止しよう」「特定の宗教は廃止しよう」「皆で共に生きていくための共通項を見つかけよう」となるのです。大多数はクリスチャンです。しかしクリスチャンたちは、ヨー

ロッパを弱体化しているリベラル派に苦しめられます。そして少数派であるイスラム教徒は、規則に従って行動しなければなりません。もしその規則が、少なくともキリスト教に影響されないことを認めれば、ですが。私が言っていることがわかりますか？これは、現在ヨーロッパで非常に面白いプロセスが進行しています。ですから、皆さんにはヨーロッパのために祈っていてほしいのです。私は自分自身の要点を明確にしてみました。ヨーロッパに行って教え、ヨーロッパ人に福音を広めることです。ヨーロッパ人は、各国政府によって、自分たちの習慣、法制度、宗教組織、富によって盲目にされています。そのために、何が起きているのか見えていないのです。

私は来週クロアチアに行って、オランダ、フランス、イギリス、ノルウェーでもお話しします。事実、私は招待された全てのヨーロッパの教会やカンファレンスでお話しします。なぜなら、少なくとも何が起きているのか分かっていない人たちが目を開いて、起きていることを見られるように、そして、私たちの生きている、今の時代と季節を理解できるようにしたいのです。私が思うに、これらはとても興味深いことです。

また、現在中東のモスル等で起きていることは見せかけに過ぎず、何も達成していないと思っています。選挙前に、アメリカのメディアはいかにも軍事行為が行われていて、ISISが払拭されつつあるように見せかけましたが、選挙終了2週間経過した今も、全くそれに近づきもしません。シーア派の民兵ハシャドアルシャービが、ISISから解放された場所で、スンニ派イスラムを惨殺しており、スンニ派が恐れていたことが確かに起きているのです。だからスンニ派はISISを去らせません。彼らが去った後に起こることの方が悲惨だということを知っているからです。もしISISが彼らの生活を困難にするとしたら、シーア派は彼らを惨殺するのです。そういうわけで、かの地はいまだに緊張状態にあります。

中東で起きていること、ロシアとイランがシリアにおいて大規模な駐留をしていること、加えてヨーロッパで起きていること、ワシントンで起きている新大統領の問題。全ての事が、エゼキエル 38 戦争終了後に登場する、平和をもたらす世界的指導者の受け入れ準備に加速度を増しています。彼は人々を騙し、3年半の間は世界中が最高の状態だと思われませんが、いったんそれらを手に入れると、彼は化けの皮を剥いで、戦争を仕掛けます。それもユダヤ人に対してです。ユダヤ人は砂漠に逃げるとあり、恐らくペトラに逃げるのでしょう。黙示録によると、7年の大患難の後半3年半、1,260日の間、その時は神の御怒りが世に降り注がれ、物事が大変悲惨な状態になります。ものすごく悲惨ですよ！それなのに、封印や鉢の裁きがすでに行われたと考える人が、私には理解できません。黙示録のこういった出来事は、非常に厳しく、非常に激しく、とても異常で、この地球がかつて経験したどの事象も、かすりもしないほどのことなのです！

さて、以上がイスラエルとヨーロッパについてお伝えしたことです。ヨーロッパの人たちはクリスマスマーケットに行くときはくれぐれも注意してください。それから、そちら方面に旅行に行く人たちも気を付けて、くれぐれも安全に行ってください。そして、ヨーロッパのため、起きている事柄のためにお祈りください。トルコの大統領が今やっていることには、本当に驚きです。先日もお伝えしましたが、エルドアンはヨーロッパと取引しようとしています。2年間で30億ユーロ(約3,696億円)を渡すなら、トルコに留まっている何百万人も難民をヨーロッパには行かせないで、自分がそれを止める、その代わりに、自国民にビザ無しでヨーロッパに行かせ、働くことを許可せよ、そして現金を渡せ、と言ったのです。つい先日、数日前の事です。その後、エルドアンはヨーロッパに「おい、ところで俺は2年間で30億ユーロなんて言ってない。1年間に30億ユーロと言ったのだ」と述べたのです。そこでヨーロッパ側では、見事に裏切られた、騙されたと感じているのです。当然、エルドアンにとって失うものは何一つなく、強烈な脅迫をしているわけです。ヨーロッパにはすでに難民がいて、この先さらに何百万人も受け入れることはできません。トルコは簡単に対処できるからです。全てはおカネの問題なのです。前にも話した通り、トルコも現金が必要なので、ヨーロッパをゆすりにかかっています。ロシアも現金が必要、だからイランとトルコと取引しています。イランも現金が必要、そのためアメリカをゆすり、イラン協議で20億ドル(約2,300億円)を現金で受け取りました。全てはカネ！彼らの経済はまさに傾いていて、実際に彼らは何でもやりたい放題しています。

それから、私たちは最高レベルの警戒態勢にあります。イスラエルは安全で、我々の目はダマスカスに注がれています。前にも言いましたが、私たちはそこから脅威がやって来ると信じていますから。時が来て、こちらの存在を脅かす場合を阻止する必要がある時には、躊躇しません。シリア内部にまで、やるべきことを遂行します。それは今はもう、たやすいことではないのです。ロシアが海軍艦隊空母アドミラル・クズネツォフを沿岸に乗り入れて以来、脅威で支配し、その周辺には一切の航空機が入ることができないのです。以前のように簡単にはいかないのです。それでもイスラエルは、やるべきことをやるのです。ですから、我々はシリアに関してはロシアと協力し合っています。

皆さん、どうか引き続き Facebook で私たちをフォローし、You Tube チャンネルをご登録ください。Behold Israel です。たくさんの方がニュースレターを登録してくださいました。すでに2,500~5,000に達しています。それでもまだ、多くの方が申し込み方法をご存じないようなので、我々の Facebook ページからご登録ください。毎週、一週間のまとめを E-mail でお伝えしています。それから Instagram もフォローしてください。

皆さん、どうか続けて前進しましょう！神がすべてをコントロールされています。物事は動いていて、聖者は行進しています！だからすべて大丈夫です。聖徒は祈り続けるべきです！

今は我々がこの地上にいる最後の段階です。今がベスト、最もワクワクする時代です。だから私たちは腕まくりをして、御父の業に励みましょう。神がそれを望んでおられるのです。実に、山ほどやるべきことがあるのです。多くの人が、現在直面している試練について書いてこられますが、私が言えることは、「今は世に惑わされている時ではない」ということです。今は「我々はこの世のものではない」と理解する時なのです。例えば女の子なら、クリスチャンと付き合い、男の子なら、クリスチャンと付き合う、世に惑わされてはいけません。もし教会に繋がっていないのなら、教会に繋がってください。私がこれまで見てきた中で、クリスチャンにとって最も危険なのは、教会に繋がっていない人たちです。一匹狼でいる人々、そういった人たちが、おかしい神学や論理を仕入れてきて、間違っただけでなく、他の人を惑わすのです。教会に行かないで、人々と交わるのをやめたり、神の御言葉によって清められることをせず、メッセージに心を突き刺されることがないと、実に多くの欺きの対象となります。ですから教会に行って、どこでもその場で主を礼拝し、聖書を学び、家に帰っても自分で学んで、祈る。祈ることをやめないでください。そうすれば、驚くべきことがわかります。神は今、世界中の様々なところでものすごく動いておられます。人々は言います。「どうして、自分は神の声が聞こえないのか？」「どうして私には神が見えないのか？」あなたは座って、主に耳を傾けていますか？あなたは主に時間を割いていますか？あなたは祈っていますか？あなたは神のみことばを読んでいますか？神はそこから語られるのです。神はかすかなか細い声で、ささやかれるのです。あなたが祈ると、神はあなたの状況に応じて、時に叶った内容を、御言葉を通して語られるのです。だから皆さん、どうか祈り、御父の業に励んでください。人々にみことばを伝えましょう。今は本当にワクワクする時です。もしあなたがまだしていないのなら、今すぐしてください。宣言するのです。イスラエルの民が、約束の地に入る前に、ヨシュアが宣言したように、

15 私と、私の家とは、主に仕える。

(ヨシュア記 24:15)

と口に出して、宣言するのです。私たちに書いて、送ってください。どこにお住まいなのか、あなたの名前と一緒に書いて、宣言してください。「あなたと、あなたの家とは、主に仕える。」と。あなたがこれから御父の業に励む、主に仕えると告白することほど、サタンを恐れさせることはないのです。サタンはあなたが決心したことを聞くのを、一番嫌がります。あなたは主のもので、あなたは主に仕える。そして、これからあなたは主の業に励むのだ、と。だから、その真実をしっかりと握りしめて、前に進みましょう。

このメッセージは You Tube に投稿しますので、チャンネル登録をしてください。

I love you!

どうか、皆さん頑張ってください！皆さんの安息日が平安で満たされますように。イスラエ

ルからお祈りしてます。皆さんの声を聞かせてください。

Thank you!

God bless you!

Shalom from Jerusalem!

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジューAmir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO